

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します!

【ぐんまフラワーパーク】 <http://www.flower-park.jp/>

赤城山の南麓、総面積18.4ヘクタールの敷地に広がる園内は、年7回の花まつりや5つの温室で一年中美しい花が楽しめます。



18メートルの高さのパークタワー。天気が良ければ、スカイツリーや富士山も望めます。

正面ゲートを抜けると、目の前に色鮮やかなフラトピア大花壇、赤城山をバックにそびえ立つ高さ18メートルのパークタワーが広がります。5つの温室は、ラン、熱帯花木、ペゴニア、サボテンの温室と季節ごとに様変わりするイベント温室。その他ハーブの香りの散歩道、イングリッシュガーデン、日本庭園、ちびっこ広場など見どころ遊びどころたっぷりです。大人も子どもも楽しめます。

是非、足を運んでみてください。(文：根岸)

- 所要時間: 交流の家から車で20分 ■TEL: 027-283-8189 (フリーダイヤル0120-1187-38)
- 住所: 群馬県前橋市柏倉町2471-7
- 開園時間 9時～17時(4月～9月の土日祝は18時まで)、冬期(11月～2月)は9時～16時
- 入館料: 4月～6月 700円 / 7月～12月・3月 500円 / 1月～2月 300円(中学生以下無料)

リレーcolumn すたっぷの目

『ここ数年で』

文: 田村 悠(たむたむ)
【たむら はるか】



赤城名物薪ストーブを点火中です!

近年、子供たちを取り巻く状況は大きく様変わりしたのではないのでしょうか。昔は興味のあるものに対してお小遣いの範囲で現金を払うというのが当たり前でしたが、今やネット環境が子供に対しても完備されている家庭がほとんどですから、好きな音楽だろうがゲームだろうが入り口が無料になっています。入り口だけは無料だけど、もっとのめり込みたい場合は課金で...親がネットの危険性・対処法を理解していれば良いのですが、そうでなければ子供は絶えず溢れる情報にさらされることになってしまいます。無料を看板として敷居を低くすると、途方もない数のユーザーが集まって業界が爆発的に発展してしまうということが証明されつつあるため、この傾向は今後も形を変えて続いていくでしょう。

一方で、金と手間をかけさせる自然体験活動はそれらの対極に位置しているため、その存在意義・有効性を時代の変化に併せて再定義し発信していかなければ生き残れないでしょう。そのための議論の場として、このカラゴロリを今年度も存続させていきたいと思ひます。

つぶやき

- 仕分けされ てんやわんやの 二年間
箱に応じた 中身になりつつ (山崎)
- 桜花 いつ咲くのか 咲かぬのか
私の想い 不発となるな (廣澤)
- 花粉症 自分は不死身と 油断して
くしゃみと咳に 苦悶の春 (島崎)
- 春かすみ 白くたなびく 姿見て
淡き思いを なつかしむ (坂田)
- あたたかく 強く大きく 美しく
赤城の伝統 そらを見上げる (星野)
- 南風 アカギの草花に 春知らせ
新たな門出に いとしさとせつなさ (小川)
- 咲き誇る 花に元気を 貰いつつ
今日も笑顔で がんばりましょう (鈴木)
- 朝起きて 日差しの温さに 感動し
霞の空と 春の訪れ (高瀬)
- 北風と 南風に 挟まれて
春はすぐそこ 花粉の嵐 (根岸)
- 言うことと 愚痴を控えて 和を保つ
老いたト伝(ボクデン) 無手勝流(ムテカツリユウ)
(小野里)
- 風にふれ 桜ほのかに 匂い立つ
われ待つ間 うたを詠む君 (新井)
- ありがとう いろいろあるが ありがとう
なれてきた土地 なれてきた人 (内田)
- 若葉もえ 旅立ちの時 夢希望
いっぱい詰めて 笑顔で送る (神山)
- 穏やかな 日差しを浴びて ひと休み
青空眺め 心新たに (阿佐美)
- 花粉症 マスク対策 してみても
眼鏡もって 結局外す (中屋)
- 朝ごはん 毎日食べる かつく
目指そう 行こう オリンピック (井上)
- 山々を 見ながら登る 通勤路
春は新芽の 顔がお目見え (黛)
- いつかまた... ほのかな夢を 運ぶ笛
手始めに 群響の会員になった (柴崎)
- 異動時期 ざわざわしている 年度末
桜の開花 あわせていそぐ (佐藤)
- 2年過ぎ 別れる人と 出会う人
みな大切な 仲間となりぬ (桜井)
- 赤城山 登る景色は 美しく
降りるときには 色々見えて (田村)
- たのしきも つらきもすべて 思い出に
赤城の山も 今宵限り (秋山)

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

4-5
2013



「つくしんぼ」

子どもたちは、見つけると喜んで摘みますよね。姿のかわいらしさから多くの人に愛されています。その場所で、それぞれに、新しいスタートがある4月。地面から頭を出す姿は、そんな4月の象徴のようにも見えます。

次号は、
6月1日発行予定!

風のおと

皆さんと一緒に事業を行いたいです

国立赤城青少年交流の家では、色々な事業を行っています。今年はこちらをできるだけ地元の団体にご協力いただき、実施したいと考えています。

国立施設は職員が定期的に入れ替わります。予算の増減もあります。そのたびに事業が終了したり、始まったりします。しかし、子ども達を育てる施設とするならば、事業の継続性は必須です。それができるのは地元の団体だと考えています。ですから、主催事業をご一緒にさせていただき、継続できる事業を各団体に成立させていきたいのです。

そのために大切なのは、団体と一緒に事業をすること。そして、実施

するのと同じくらい大切なことが各団体で指導する良質な人材を養成することだと思っています。これは、団体の指導者かもしれない、団体にこれから所属しようと思っている若者かもしれません。

今年は皆さんと一緒に、そんな事業と人材養成を進めていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

所長 桜井義維(よしえ)

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

赤城 カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail:akagi@niye.go.jp

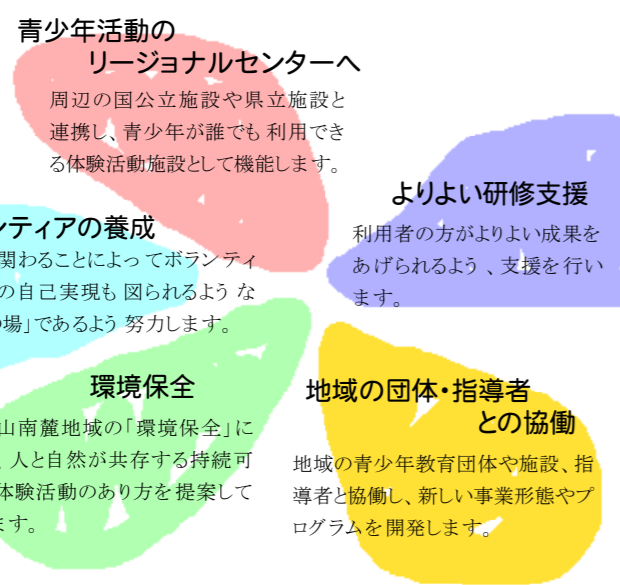


新しい年度が始まりました!!
【平成25年度国立赤城青少年交流の家運営計画】より

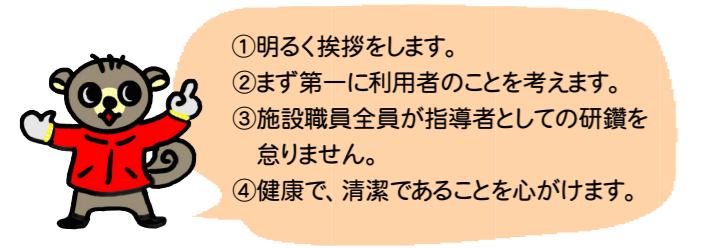
地域になくてもならない施設づくりを目指して

新しい年度に入りました。私たち国立赤城青少年交流の家では、ご利用になる皆様にとってより良い施設をめざし努力を続けてまいります。平成25年度の取り組みについて、ご紹介いたします。

●平成25年度からの取り組みイメージ



●目指すスタッフ像



そのために今年度は右のような事業を行います。

これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)

■4/13【あかぎ南ろく桜フェスタ】※日帰り
たくさんのお店が大集合するイベントです。ツリーイング、ネイチャークラフト、焚き火などの体験コーナー、ご当地アイドル、和太鼓などのステージパフォーマンス、焼きまんじゅう、うどん、おこわなどの飲食ブース、など盛りだくさん！お花見をしながら1日楽しめるイベントです。
……………**出店・出演予定団体**……………
・前橋市立富士見中学校吹奏楽部
・AKAGIDAN-AGK-
・湯けむり☆美少女
・上州榛東ふるさと太鼓
・前橋市赤城少年自然の家
・ぐんま山森自然楽校
・アドベンチャー集団Do!
・チャウス自然体験学校
・群馬大学工学部技術部
・富士見赤十字奉仕団
・富士見商工会青年部
・富士見村特産品販売組合
ほか多数の団体の方が出店します★

■4/27、28、5/6、12、26、6/2【学校スキルアップ研修】※日帰り(施設見学の日とあわせて実施)
2つ程度のプログラムについて、円滑に実施するための概略、および安全について学びます。
●内容:あかぎアドベンチャープログラム、野外炊事、オリエンタリング、キャンプファイヤー、スーパー竹とんぼ、あかぎやま登山、の中から選択。

■5/18～19【ボランティア養成セミナー】※1泊2日
ボランティアに関する知識を学習したり、人間関係を構築するための技術を習得したり、社会に積極的に関わろうとする若い人材を育成します。

●平成25年度の事業

研修支援事業	<p>◆プログラムスキルアップ研修 施設見学日に合わせ、引率当日も困らない、ちょっとした指導のコツを学べる場を設けます。</p> <p>◆学校プログラム支援事業 公募した12校を対象に、プログラムの企画や当日の指導補助などのバックアップをさせていただく事業です。</p>
主催事業	<p>◆教育事業 「自然環境を活用した青少年のための活動、プログラム開発」を目的とした事業です。 ・やまなみチャレンジキャンプ(小学生対象/8月実施/6泊7日) ・サンサンかがやきキャンプ(障がい児対象/8月及び2月/1泊2日) ・多文化共生推進事業(通年) ・あかぎ森林守り隊(通年) ・ボランティアセミナー(一般対象/5月/1泊2日) ・赤城自然学校フォーラム(指導者対象/2月/1泊2日)など</p> <p>◆地域協働・広報(リレーションシップ)事業 「青少年教育団体や施設、自然体験活動指導者などとの協働による、新しい事業形態の開発」を目標とした事業です。また、広報活動のための体制の整備と充実を図ります。 ・ぐんぐんチャレンジキャンプ(小学生対象/年6回/1泊2日) ・あかぎ体験お届け隊(通年) ・スポーツカップ大会(冬季)など</p> <p>◆教材・事業開発事業 新しい教材や活動プログラム、事業の開発を進めます。 ・あかぎ自然エネルギーの家化計画 ・赤城「自然資料館」化整備事業</p>
その他の事業	<p>地域団体等との協働で実施する事業です。 ・風つ子ファーム(協働団体:上毛新聞社、ぐんまフラワーパーク) ・ふみだす探検隊 (東日本大震災復興財団提供。プログラム実施は赤城自然塾、ぐんま山森自然楽校、アドベンチャー集団Do!等と連携)</p>

その他にも、ご利用いただく方々のご意見をいただきながら、地域になくてもならない施設として努力を続けてまいります。今年度もどうぞご支援ご協力をお願いします。(文:高瀬)

プログラム紹介!

【キャンプファイヤー】

「キャンプファイヤー」と聞くとなんだかワクワクしてきませんか。燃える炎は、気分を盛り上げ「仲間との楽しい時間」をつくり、消えていく小さな火は、気分を落ち着かせて「活動や自身へのふりかえりの時間」をつくります。火を囲んで2つの時間を過ごすことは、深く思い出に残るものになるでしょう。



分火・点火の儀式を行っているところです。

赤城の森は、野生生物が暮らす豊かな森です。楽しいキャンプファイヤーをする上では、「自然との共存」「安全」の考えとバランスをとっていくことも大切です。子どもの身長よりも高い薪組み、灯油の使い過ぎ、森の静けさを切り裂く大音量での大騒ぎ…。私たちは、そういったことは少なくしていきたいと考えています。
定番プログラムだからこそ、本質を見つめ、時代とともに変わっていくもの、時代が変わっても変わらないものを大切に、よりよい活動を提供していきたいと思います。(文:井上)

国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

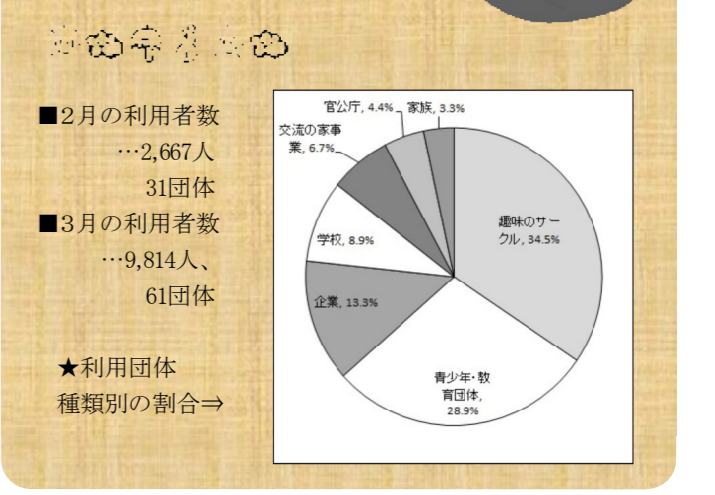
●国立赤城青少年交流の家 清掃主任
はやし きょうこ
林 京子さん【きょうこさん】



家のこたつで作ったというたくさんの写真とともに、館内にも飾らせてもらっています。

林さんは、交流の家をピカピカに磨き、心地よい空間を作ってくれる仕事人です。この広い施設に、専属掃除スタッフ3名という 厳しい中で、3年間がんばってこられました。
仕事は、毎日7時から、廊下・階段、談話室、サービス棟、宿泊棟のモップがけから始まります。「来た人に、気持ちよく過ごしてもらいたい」という思いが支えです。汗して働く林さんに、小学生から「きれいにしてくれて、ありがとう」、社会人の方から「母ちゃんのことを思いだす」と声をかけられると、うれしくて元気になるそうです。反対に悲くなるのは、ガムのいたずら。なかなか手強い汚れなのです。
家に帰ると、日中は忘れていた疲れがどっと出るようです。旦那さんが、労いの言葉とともにマッサージしてくれたり、背中を流してくれるとのこと(羨ましい!)。すると、「また明日もきれいにしちゃおうかな!」と思えてくるそうです。
残念ながら林さんはこの3月で異動されました。交流の家を大切に思う気持ち、きれいになった館内を見るたびに伝わってきました。頭の下がる思いです。今まで、ありがとうございました。(文:内田)

利用のようす(2～3月)



利用にあたりよくある質問

Q.マダニの対策はどうしたらいいですか?
⇒ダニもそうですが、野外活動においては、けがや虫さされ防止のために長袖・長ズボンでの活動をお願いします。あわせて皮膚が露出しているところには防虫スプレーをつけてください。もし、体にダニがついていることに気がつきましたら、無理に自分でとろうとはせず事務室へ相談ください。その後、病院で診てもらうように手配いたします。
Q.登山はもうできますか?
⇒3月も下旬になると鍋割山に登っている人がいます。ただし、4月に入ってから降雪があり、中旬ぐらいまで雪が残ることがあります。また、地蔵岳や黒檜山は5月上旬まで雪が残っていることが多いです。登山前に、交流の家に状況を確認するようにしてください。(地蔵岳や黒檜山については、赤城山ビジターセンターでより最新の情報がわかります。TEL⇒027-287-8402)

アンケートより

★車椅子で宿泊棟まで行くのが不便でした。
⇒これまで、食堂から宿泊棟に行くまでに階段があり不便だったのですが、食堂～宿泊棟、E棟1F～2Fに階段昇降機を設置しました。
部屋は、車椅子の方でも宿泊できるように宿泊棟E棟に車椅子対応の部屋が1室あります。電灯のスイッチなどが低い位置に設置され、事務室への警報スイッチもあります。その他、対応トイレやエレベーターも設置させていただいております。
今後も、多くの方がご利用できるよう、施設を見直してまいります。
★タベのつどいのじゃんけんが楽しかったです。他の団体との交流が深まりました。
⇒タベのつどいは、1日の活動を振り返ったり、団体間の交流を深める目的で行っています。職員が行うレクリエーションでの交流がよかったならうれしいです。
食事を一緒に食べたり、所内であつたら挨拶をしたりして親睦を深められると、交流の家の趣旨にもあいます。
楽しいゲームを用意して、皆さんをお迎えできるよう心より、お待ちしております。